

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		母子生活支援施設保護事業費 [母子生活支援施設保護事業]										
予算科目		款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	5	母子福祉費	事業番号	4
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの										
担当部署・課長名		子育て支援 課 ひとり親・女性相談 係					課長名		新海 隆弘			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号		2 - 4	
【施策名】 児童福祉の推進									総合計画書 (ページ)		59	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。						① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	1 8歳未満の児童の養育が十分にできない母子家庭の母と子						市内在住の母親と子どもの世帯(核家族世帯)					
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]						② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
母子家庭の母が児童の養育を行い生活できるようになる。						自立して退所した母子世帯/入所世帯数						
→												
③ そのために何をしましたか。						③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
施設入所者に、生活相談等支援を行い、自立を促す。						対象者がなかったため、活動量0						
→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
	対象指標	①の数値	人	不明	不明	不明						
	成果指標	②の数値	%	0.0	0.0	0.0						
	目 標	②の目標値										
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)												
活動指標		③の数値		0	0	0						
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	0	0	0						
		特定財源	円	0	0	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	82,530	824,400	831,000						
職員人件費(再任用)	円	0	0	0								
事業費+人件費		円	82,530	824,400	831,000							
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く											
	事業目的に合致する対象者を把握した場合、利用について支援を行い、継続して母子の自立に向けた支援を行う。											
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く											
	対象者を把握した場合は、適切かつ迅速な支援を行う。											